

日本基督教団大阪教会



大阪市西区にある大阪教会は、1874年に創立された梅元町公会を前身とする、日本で最も古い歴史をもつプロテスタント教会のひとつ。現在の教会堂は1922年に、ウィリアム・メレル・ヴォーリスによって設計された。全体に半円アーチを多用したロマネスク様式で、外壁はフランス積みのレンガ壁。礼拝堂は2階に設けられ、装飾を抑えた静寂の空間が広がる。屋根の小屋組が露出するオープン・ルーフで、巨大な木造のキング・ポスト・トラスが迫力。1995年の阪神大震災で被災して被害を受けたが、鉄骨による補強などで見事に復旧された。(高岡伸一)

所在地：大阪市西区江戸堀 1-23-17

建設年：1922年

構造・規模：(聖堂) 鉄骨煉瓦造3階、(尖塔) SRC造6階

設計：ヴォーリス建築事務所(ウィリアム・メレル・ヴォーリス)